

# みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/10/25 Vol. 41 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

## 印西市議会/平成 16 年第 3 回定例会報告 ( 4 )

### ～ 市民主導市政を問う ( 1 ) - 市民任せでいいの？

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会 ( 9 月議会 ) は、9 月 24 日 ( 金 ) までの会期にて行われ、閉会しました。今回も引き続き、9 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思っております。

9/9 ( 木曜日 ) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

#### 1. 市民主導について

山崎市長は選挙公約で「市民主導の市政」を提唱され、市長の席に就かれたわけであるが、公約実現の為に具体的にどのような方針で市政を運営していくのであろうか。

##### ( 1 ) システムづくりについて

「市民自らが地域で積極的に自主的に解決できるシステムを創ります」との公約を掲げていたが、現在、検討が進む「市民参加条例」ではどのように配慮されているのか。

#### ( 回答 / 市長 )

( 1 ) 市民参加条例 ( 案 ) 策定に向けての市民会議につきましては、会派代表松本議員にもお答えしたとおり、市民主導により、現在様々な事例の研究を行っているところでございますで、今後、あらゆる要素について議論していただきたいと考えております。

#### ( ぐんじとしのりより 市民のみなさまへ / 「行政は何をすべきなのでしょう？」 )

今回は「( 市民参加の ) システムづくり」を市民参加条例と絡めてお聞きしました。

松本隆志議員は条例策定の進捗状況と展望をお聞きしていますが、私の設問とは全く違っているわけです。私は進捗や展望を聞いているわけではなく、「市民主導をおこなうために印西市ではどのようなシステムをつくっていくのか」を市に問いました。

また、「市民参加条例」に関して言及するのならば、当然「市の役割、市の責務」については「市としての考え方が述べられるべきです。( 今回、市民参加で条例案をつくるということにあたり、市では、参加者に参考資料として他の自治体の条例を配布しており、その「条例集」の中には「市の役割、市の責務」が当然記載されております。)

私は「市民自らが地域で積極的に自主的に解決できるシステムを創ります」と市長公約で述べたのであれば、自主的に解決できるシステムは市が考えておくべきものではないのですか？を問いました。市民が ( 主体的に ) 条例案を考える前に印西市はあらゆる可能性を考え、先進市にならって考慮して行くべきものなのではないか？条例をつくってから、システムを創りあげるのか？市ではどのように考えているのでしょうか？

市民が集まって条例案を考えているから、印西市では何もしなくてもいいというものではありません。「市民参加条例」の検討期間が 1 年延長されたことは非常に喜ばしいことです。しかし、延長されたからには、細部にわたり検討するのは当然で、私は印西市にとってさらに厳しい目を向けます。

繰り返しになりますが、私がお聞きしたいのは市民の動きではなく、印西市の今後の動きかたです。行政の動き方として、一例を申し上げます。

<京都市の例>

「行政が市民参加を促進する様々な仕組みを用意し、これを市民が積極的に活用することで、行政と市民がそれぞれの役割を十分に果たし、より良い市政運営とまちづくりの推進が図られます。」

そのために行政と市民は、それぞれ次のような役割を担います。

- (1) 行政の役割                      市民参加の多様な仕組みを整えること。  
市民参加の成果を市民と共有し、更に取組を広げていくこと。  
市民参加の前提条件となる市政情報を的確に市民に提供すること。

ここでは紙面の都合上、市民の役割には触れませんが、行政の役割として記載したように、「3つ考えられます」ということです。

### (ぐんじとしのりから印西市への/再質問)

「市民参加を進めるための行政の体制づくり」として、印西市ではどのようなことを行っていきますか?どのような動きをすべきと考えていますか? - これは市民が考えるべきことではなく、行政の役割として考えるべきものです。市民参加についての検討は今に始まったことではないはず。どのように考えているかお答えください。

(回答/総務部長)市民活動の促進と、それからまちづくりあるいは政策検討プロセスへの参加、この2つが中心になるかというようには考えております。そう言う面で行政の役割はそういう環境を整備するということが大前提になっていくようには認識をしております。

### (ぐんじとしのりから~印西市に何を求めるか?)

システムづくりについて/市民参加を進めるための行政の体制づくり  
市民参加をより一層充実したものにしていくためには、市職員の理解と能力の向上を図るとともに、市民参加の取組が円滑に進む庁内体制づくりや適切な権限配分が必要です。市職員が市民参加に関する理解を深め、力量を高めるとともに、必要な行政情報を共有できるシステムを整え、市民のニーズに迅速かつ的確に対応できる体制づくりを進めて欲しいと思います。

### **「市民経済常任委員会」視察を行いました。**

10月4日(月曜日)~6日(水曜日)まで以下の日程で視察を行ってまいりました。

#### **10月4日(月曜日) 滋賀県長浜市 - 「中心市街地の活性化について」(人口5万9千人)**

中心市街地を民間主導によって「黒壁」による統一された街並みにすることにより、これを起爆剤として街を復活させ、現在では年間100万人が訪れる街をへと急成長し、商店街の再生、北国街道の再生が図られることとなった。

#### **10月5日(火曜日) 滋賀県近江八幡市 - 「中心市街地の活性化について」(人口6万8千人)**

200ページにわたる「市街地活性化基本計画」を策定。「暮らし・商い・伝承・協働」をキーワードに夢物語を列挙するより、地に足のついた着実に実行できる事業を実施。

#### **10月6日(水曜日) 滋賀県草津市(NPO法人地域通貨おうみ委員会) - 「地域通貨について」**

地域通貨の先駆者に地域通貨の可能性と商店街の活性化との結びつきを指導していただく。

現在、市では「印西市第2次基本計画(平成13年~17年)及び第3次実施計画(平成15年~17年)」に沿って「市民経済部産業振興課」が進める魅力ある既存市街地の活性化に伴う中心市街地活性化基本計画の策定をすすめております。今回の視察では先進各市に訪問し、担当各部との意見交換や現地視察を行い今後の印西市での実施に役立てるものと考えております。

次回のこの紙面でも「市民主導市政」についてご報告して行きたいと思っております。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり